

オンライン講義を受ける上での注意事項

理学部数理科学系・理学研究科数学・数理解析専攻

令和2年5月12日

今年度前期は多くの講義が Zoom によるオンライン講義の形で開講されています。オンライン講義の受講生として、以下の点に注意してください。

○ Zoom の設定や視聴に関して

Zoom のメニューには、以下の機能があり、それぞれ以下の対応をしてください。

- 1) ミュート/ミュート解除 (マイク音声のオン・オフ)
全員「ミュート」(音声オフ)にしてください。オンにしていると、皆さんの端末から生活音が入り込み講義進行に支障があります。
- 2) ビデオの開始/ビデオの停止 (カメラの映像のオン・オフ)
対面が必要な場合を除いて、一般に講義では、**全員カメラを「オフ」**にしてください。これはインターネットの通信量を減らし、講義をスムーズに進行するためです。
- 3) 参加者：
「**オン**」にしてください。参加者一覧がみられます。また、ここを通じて発言や質問をするための「手を挙げる」機能を使って講師とのやりとりを行います。
- 4) 画面の共有：
デフォルトでは画面共有ができない設定になっていることが多いですが、共有できるからといって関係のない**画像や動画を共有することは厳禁**です。
- 5) チャット：
講義時間中に教員との連絡や情報共有に使えるのでオンにしておくて便利です。
- 6) それ以外の機能はあまり使いませんので、利用については教員の指示に従ってください。

○ オンライン講義を視聴する上では以下を強く推奨します。

- 1) 講義は**イヤホンを使って視聴**してください。
そうでないと PC から出る音声は部屋で反響して講義全体の音声状況が悪くなります。新しく買うという人は、マイク付きヘッドフォンなども有効です。
- 2) PCやタブレットで視聴する場合は**スマホのWiFiをオフ**にして置くと、皆さんWiFiへの負荷を減らすことができます。

- Zoom bombing (Zoom 講義の第三者による荒らし行為) を避けるための遵守事項
 - 京都大学が提供する Zoom オンライン授業の**会議 ID やリンクを自分以外の人間に伝えることを固く禁じます**。(ハッキングされる可能性があります)
 - Zoom オンライン授業へのアクセスは(一部例外を除き)原則 PandA を経由して行ってください。たとえ同じ授業を履修している同級生等の知人であったとしても、PandA を経由しない方法で Zoom の接続先情報を教えたり、教えてもらったりしないでください。なお、例外として数理科学系課題研究や数学・数理科学専攻の大学院セミナーは PandA ではなく、個別に教員とコンタクトをとってオンライン講義を実施することとなっています。
 - オンライン授業の会議 ID やリンクが外部に漏洩した場合、参加者全員が詐欺行為による多額の金銭被害や精神的苦痛を被る危険がありますので注意してください。
 - 講義の妨害は全体の不利益になります。皆さんの良識に期待します。

- PandA アクセス負荷をへらすための遵守事項
 1. 授業が始まる前までに余裕をもって PandA にログインしてください。
 2. 授業が始まる前までに余裕をもって講義資料をダウンロードしてください。
 3. ビデオ閲覧は授業時間外で行うようにしてください。
 4. 課題やテスト・クイズの解答提出は講義終了後すぐではなく、負荷が低くなる時間帯を選んでください。

- PandA で課題を提出する方法

現在レポートボックスを通した紙媒体のレポートを受け付けていないので、PandA のサイトページの「課題」ツールを使って電子的に提出することが求められます。特に数式を含む解答を提出する場合には、添付ファイル形式で提出することになります。「課題」の中で「添付」の「ファイルを添付」を押した上で以下のどれかの方法で作ったファイルを添付して下さい。

 - 1) 紙に解答を書いてカメラで撮影したものを提出する
 - Adobe Scan (<https://acrobat.adobe.com/jp/ja/mobile/scanner-app.html>)を使う。これは、スマホカメラで撮影した画像を PDF に変換するためのスマートフォンのアプリです。(この方法を強く推奨します)
http://www.kyoryu.scphys.kyoto-u.ac.jp/scan_then_panda/stp.htmlも参考になります。
 - 紙に書いたものを撮影して画像ファイルとして提出する。
 - 撮影でなくてもスキャナー(ScanSnap など)で紙をスキャンして電子化してもよいでしょう。

上記、いずれの方法で提出するにしても、以下の点に留意してください。

- ✓ 撮影する紙の上の方に「学生番号」「氏名」をしっかりと書き、左上に「問題番号」を書くこと、複数ページにわたる場合は右上に「ページ番号/全ページ数」（たとえば三ページ中の二ページ目なら 2/3）を書くこと。
- ✓ 大きめの字で丁寧に書くこと（特に添字）
- ✓ 紙（撮影対象）に照明をしっかりと当て、撮影画像から提出内容が判読できることを確認してから提出すること
- ✓ 書き損じたらしっかりと消してから書き直すこと

2) ソフトウェアを使って解答を作成して提出する。

- マイクロソフト社の提供するワープロソフト Word で作成する。
- TeX/LaTeX は数式を含む文章を作成するソフトウェアです。数学ではこのソフトを日々の研究/教育活動で使いますので、これを機会に習熟するのもよいと考えます。
- Surface や iPad のようなペンタブレット的なものを持っている場合は、PDF 等に直接手書きで書き込んだものを提出することもできます。

(参考) 数学・数理解析専攻 HP では学生向けページがあります。

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/class2020>

(参考) WiFi 環境について

携帯電話によってはテザリング機能を用い、PC や iPad にインターネット接続の環境を提供できるものがあります。大手携帯 3 社は、期間限定ですが 25 歳以下の学生の携帯のデータ使用量の緩和を行っており、携帯をルーターとして用いて授業を視聴する方法もあります。

DOCOMO https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2020/04/03_00.html

SOFTBANK <https://www.softbank.jp/corp/special/covid-19/>

Au <https://www.kddi.com/important-news/20200402/>

また、楽天モバイルも京都や大阪においてテザリング向けサービスを行っています。

<https://network.mobile.rakuten.co.jp/fee/un-limit/>

残念ながら大手携帯で期間も限定されておりますが活用できる方は、検討されるとよいと思います。